

Port of Hachinohe

No. **4**
Mar 2002

---Maritime & Trade Report---

- 伸びる中国とのコンテナ輸送
- HPPCホームページ開設
- 東京と盛岡で八戸港をPR
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 八戸港コンテナ共同輸送事業 (FAZ)
- 八戸輸入住宅促進協議会ニュースレター

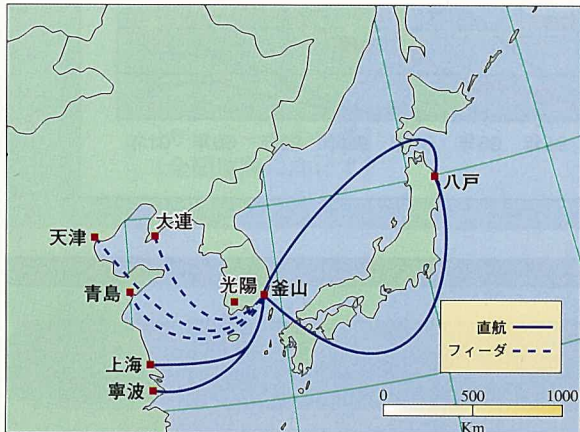
上海、寧波への 直接寄港を開始！

中国とのコンテナ輸送サービスが一層充実へ

2002年1月9日より、八戸港に就航している韓国航路が中国の上海、寧波への直接寄港サービスを開始しました。これまでは中国各港へは釜山での積み替えにより輸送していましたが、上海・寧波への直接寄港が実現したことにより、中国への輸送の利便性が向上しました。

中国・韓国航路を運航する南星海運(株)は釜山、上海、寧波などへの直航サービス以外にも、大連、天津新港、青島などの中国北部の港へも、フィーダー航路によるサービスを行なっています。

中国・韓国航路は世界第3位のコンテナ取扱量を誇る釜山港を拠点としたサービスで、八戸港のコンテナ取扱いの約4割を占める基幹航路となっています。今回、直接寄港地として新たに中国の拠点港である上海が加わったことで、今後同航路の更なる取扱いの増加が期待されます。



中国各港とつながる中国・韓国航路



八戸港に入港する南星海運のBOHAI STAR

世界の港湾別コンテナ取扱個数ランキング

順位	港湾名	2000年
1	香港 (中国)	1,780
2	シンガポール	1,704
3	釜山 (韓国)	754
4	高雄 (台湾)	742
5	ロッテルダム (オランダ)	630
6	上海 (中国)	561
7	ロサンゼルス (アメリカ)	487
8	ロングビーチ (アメリカ)	460
9	ハンブルグ (ドイツ)	425
10	アントワープ (ベルギー)	410

中国・韓国航路 寄港先	
水曜日便 (毎週)	八戸～仙台～小名浜～常陸那珂～釜山 ～上海～釜山～苫小牧～八戸
金曜日便 (毎週)	八戸～仙台～小名浜～常陸那珂～釜山 ～光陽～寧波～釜山～新潟～八戸

問い合わせ先は南星海運(株)代理店：
八戸港湾運送(株)コンテナ事業部コンテナ営業課まで

〒031-8608 八戸市河原木字海岸16-4
TEL. 0178-29-3177 FAX. 0178-29-3119

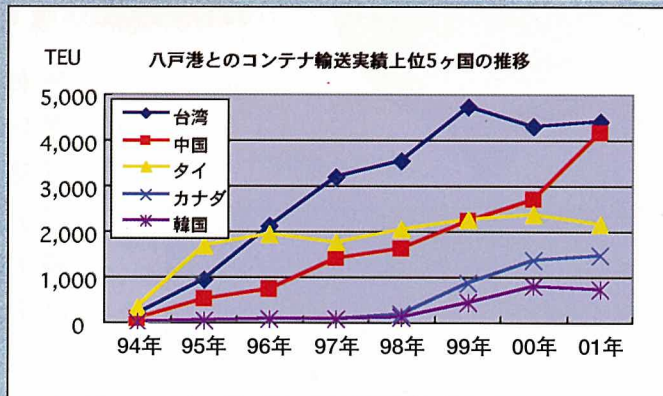
伸びる中国とのコンテナ輸送

八戸港を利用した中国とのコンテナ貨物取扱が急激に伸びています。昨年の八戸港のコンテナ取扱において、中国とのコンテナ貨物取扱は、その他の国との貿易が伸び悩む中、前年比1.5倍の4,136TEUを記録し、大きな伸びをみせています。

これは石材、融雪剤の輸入が昨年に引き続き好調だったほか、魚介類のコンテナ輸出が前年比約9倍増の653TEUの取扱いを記録したため、中でも冷凍イカの輸出は前年比約12倍増の561TEUを記録しました。

八戸港は、八太郎2号ふ頭多目的国際物流ターミナルの供用とともに、冷凍コンテナ・プラグが50口に増強され、冷凍コンテナの輸出入がこれまで以上に便利になった他、中国・韓国航路の上海、寧波の直接寄港開始により、今後中国とのコンテナ輸送が更に伸びることが期待されます。

輸移出		輸移入	
品目	TEU	品目	TEU
冷凍イカ	561	融雪剤	417
紙	401	石材	337
中古タイヤ	160	自転車	281
豚皮	89	カルシウムカーバイト	159
冷凍サケ	40	乾燥んにく粉	74



HPPCホームページ開設

八戸港国際物流拠点化推進協議会 (HPPC) では、八戸港の物流情報や協議会の活動状況を紹介するため、このたび、協議会のホームページを開設しました。

ホームページでは八戸港の利用メリット、コンテナ定期航路就航状況、貨物取扱状況の他、協議会の活動状況や構成メンバーの紹介を行なっています。また、メールでのご質問やご要望を受け付けておりますので、是非一度ご覧下さい。

ホームページアドレス

<http://www.hi-net.ne.jp/hppc/>

八戸港国際物流拠点化推進協議会

事務局 八戸市経済部産業推進課

TEL : 0178-43-2111 (内308)

e-mail : hppc@hi-net.ne.jp



八戸港・貿易の情報が入手できるホームページ

「八戸港湾空港工事事務所」

<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/hachinohe>
 問い合わせ先：
 国土交通省東北地方整備局
 八戸港湾空港工事事務所
 TEL : 0178-22-9397

「青森県の港・空港」

<http://www.pref.aomori.jp/kowankuko>
 問い合わせ先：
 青森県県土整備部港湾空港課
 TEL : 017-734-9673

「北日本の国際物流拠点・八戸港」

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/sangyo/kowan/>
 問い合わせ先：
 八戸市建設部港湾河川課
 TEL : 0178-43-2111

「Hachinohe Port Trade Center八戸港貿易センター」

<http://www.hptc.co.jp>
 問い合わせ先：
 (株)八戸港貿易センター
 TEL : 0178-72-1505

「LET'S貿易」

<http://www.pref.aomori.jp/trade/jpn/index.html>
 問い合わせ先：
 青森県商工観光労働部商工政策課
 TEL : 017-734-9370

「TIME FOR AOMORI」

<http://trade.pref.aomori.jp/>
 問い合わせ先：
 青森県商工観光労働部商工政策課
 TEL : 017-734-9370

東京と盛岡で八戸港をPR

今年2月、東北7県合同で東北の港湾をPRする「東北ポートセールス・首都圏セミナー」と八戸港国際物流拠点化推進協議会による「八戸港セミナー in 盛岡」がそれぞれ開催され、八戸港のサービス状況を両会場でPRしました。両会場とも船社、荷主、物流関連企業から多数の方が参加し、参加者は八戸港の概要やコンテナサービスについての理解を深めました。

「東北ポートセールス・首都圏セミナー」

02年2月15日（金）15:30～19:00

経団連会館

東北における港湾の利用を促進するため、東北7県合同により開催されたセミナーには船社・商社などから約400名が参加しました。

このセミナーは、青森、岩手、宮城、福島、秋田、山形、新潟の7県の行政等関係団体で構成された「東北ポートセールス・首都圏セミナー実行委員会」が主催したもので、今回初めて開催されたものです。

セミナーでは東北大学大学院の稲村教授から「国際海上コンテナ物流の将来」と題し、東北の港湾の利便性についてご講演頂いた他、各港湾毎のプレゼンテーションが行なわれ、八戸港の概要と各種サービスについて説明が行なわれました。

セミナー終了後の情報交換会では各県毎にブースが開設されましたが、青森県のブースでは八戸港のリーフレットを配布した他、八戸港活用についての情報交換が行なわれ、大いに賑わいました。



セミナー冒頭で祝辞を述べる竹内国土交通省東北地方整備局長



大いに賑わった青森県ブース

「八戸港セミナー in 盛岡」

02年2月20日（水）15:00～19:00

ホテルメトロポリタン盛岡

1年ぶりに盛岡で開催されたセミナーには、荷主・物流関係者など約70名が参加しました。

セミナーでは東北大学大学院の徳永助教授から「企業戦略としての地方港活用による物流効率化」と題し、地方港利用のメリットについてご講演頂いた後、八戸港の概要と各種サービスについて説明を行ないました。

質疑応答では、「現在首都圏の港湾を利用しているが八戸港を利用することでどのくらいのコスト削減が可能なのか」といった質問等がなされ、八戸港に対する関心の高さが窺えました。



講演する徳永東北大学大学院助教授



セミナー冒頭で挨拶する中村会長



活発な情報交換が行われた

八戸港コンテナ共同輸送事業（2001年度概要）

～八戸港CSS(Container Support Service)～

北東北の国際物流拠点化をめざす八戸港は、国際コンテナ貨物の八戸港利用を促進するために、ハード面やソフト面でさまざまな施策を実施しています。その中で(株)八戸港貿易センターでは国際コンテナ貨物を新たに発掘し、八戸港利用拡大のための方策として「八戸港コンテナ共同輸送事業」(CSS)に取り組んでいます。

八戸港経由の物流を創出するこの事業は、青森県FAZ計画のスタート当初から、国際コンテナ貨物の地元・八戸港を利用する促進策として期待されています。また、2000年度に八戸市の委託調査事業として開始され、01年度からは(株)八戸港貿易センターの単独事業となっています。

●01年度の実施概要●

- 実施回数：計11回で、ほぼ毎月1本実施しました。
- 航路：北米コンテナ定期航路による輸入が11回です。毎月1便運航されている直航便にコンスタントに希望者が集まりました(他に韓国便の希望がありました、実施可能な貨物量に満たないため実施できませんでした)。
- 積出地：北米のシアトルから6回、バンクーバーから5回(計11回)とほぼ半々です。
- 主な品目：住宅関連資材が最も多く、製材・窓枠・ドア・家具類のほかガーデニング用品・レンガ等石材が中心ですが、車庫やスポーツ用品などもありました。
- 積載率：各回31%～95%とまちまちですが、平均では約75%で、予想以上の貨物量を扱うことができました。

●02年度の実施計画（予定）●

新年度もコンテナ共同輸送事業を継続実施することになりました。概要は前年度とほぼ同様ですが、更に利用しやすいように料金を大幅に引き下げました(昨年度より20～25%引下げ)。

- 実施航路・原則として北米定期コンテナ航路を毎月実施を予定。ただし、一定量の荷物・複数の荷主がない場合はやむを得ず中止することがあります(その他の航路は一定量の荷物・複数の参加者があった場合に実施します)。
- 料 金…1m³～5m³未満は20千円、5m³～10m³未満は18千円、10m³以上は15千円(各通関渡し料金)
上記はm³あたりの料金です(1m³未満は1m³の料金とします)
含まれる料金：海外船積取扱費用・海上運賃・海上保険・通関諸費用
含まれない料金：海外集荷場所までの配達費用、通関後の国内配送費

CSS情報サービス…毎月1回程度北米航路の共同輸送スケジュールなど、貿易関連の最新情報をFAXまたはEmailにより無料で配信します。ご希望の方は当社へお申込みください。

●共同輸送の特徴（Q&A）●

Q1：八戸港共同輸送の仕組みやメリットは？

A1：1コンテナに満たない小口貨物(LCL*)をコンテナ単位の貨物に当社が取りまとめ、コンテナ便に仕立てることで、従来八戸港に荷揚げできなかった小口貨物を八戸港に直接輸出入するサービスです。これにより京浜港等よりリードタイムの短縮と運送経費(総コスト)の削減を図ることが可能です。また、海外での船積後から(契約交渉は除く)、八戸港での通関・国内配送まで当社が手配するので、これらの事務省力化が図れます。

Q2：コンテナ単位の貨物(FCL*)サービスと小口混載貨物(LCL)サービスとの料金比較は？

A2：諸経費を加味した運賃コストはやはりLCLサービスの方が割高です。しかし、小口混載貨物取扱業者は小口貨物が頻繁に集まる京浜港など大規模港で営業し、地方港ではLCLサービスが難しいのが一般的です(秋田港・酒田港にLCLサービスあり)。

Q3：小口混載貨物(LCLサービス貨物)と共同輸送(CSSサービス)との違いは？

A3：LCLサービスでは輸入者は申込者であり、本来個々の輸入者が本来行う手続きを取扱業者が代行します。一方、CSSサービスでは当社が一旦輸入者となり手続きするため、貿易手続きに伴う諸リスクの低減のほか、個々の輸入申告にかかる諸手数料分が節約できます。

このCSSサービス(輸入)では、輸入者側のコントロール裁量が広いFOB*条件により、効率的な輸送に向け努力しています。また、船会社等からの優遇適用や、八戸港国際物流拠点化推進協議会から支援も得て、効率のよいサービスを実施しています。

全国でもこの取組みは珍しく、関心が寄せられています。「小ロットで直接輸入するのは難しいのでは?」「今まで京浜港を利用していたが、八戸港は近いだけで本当に使い勝手がいいのか?」「輸入手続など分からず踏み出せない」とお考えの方は、ぜひ一度当社までお問い合わせください。

LCL：Less-than Container Load FCL：Full Container Load
FOB：Free On Board(輸出側の本船渡し条件価格。輸入側が運賃・保険料を支払い、船積決定権あり)

「サマーインポートフェア」開催予定

今年7月、ポートアイランドの八戸港貿易センターにおいて、輸入品フェア(展示即売会)や海に関連するイベントが開催される予定です。昨年の「海の祭典」の地元版として企画しますので、ご期待ください。

2002年度貿易振興関係事業について

青森県と八戸市では、海外との経済交流の推進を図るため、県内における貿易活動を活発化することを目的に、2002年度は次のような貿易振興関係事業を予定しています。
皆様の御協力をいただきながら、事業の効率的な執行に努めることとしておりますので、よろしく御協力の程お願いいたします。

青森県からの お知らせ

■貿易振興促進事業

貿易振興を図るため、国内外の展示商談会に積極的に参加するとともに、貿易推進母体の裾野の拡大を図るためのジェットロ事業への参加、セミナーの実施及び貿易関係機関の連携を強化します。

問い合わせ先：青森県商工観光労働部
商工政策課物産・貿易振興室
電話 017-734-9370

①ジャパントレードダイレクトリー出版事業

ジェットロにおいて作成している海外向け地方産業紹介誌出版事業に参加し、輸出の振興に努めます。

②国際産業交流推進協議会参加事業

輸入及び対日直接投資の促進等産業分野における国際交流の推進と、地域経済の活性化を図る国際産業交流推進協議会に参加します。

③日本貿易振興会（ジェットロ）参加事業

ジェットロが実施している貿易相談や情報提供、商品引き合いの斡旋等各種事業に協力するため、応分の負担金を負担し、ジェットロ青森貿易情報センターの機能を高め、本県地場産業の振興と貿易の拡大に努めます。

④八戸港輸入促進地域推進事業

平成7年度に策定した「八戸港輸入促進計画」を促進するため、関係機関との連絡調整を図るとともに、今までのFAZ計画の成果と今後の方向性を客観的な視点から明らかにすることを目的に、

これまでの八戸港FAZの成果評価を行いながら、今後の方向性を検討するための調査事業を実施します。

⑤貿易商談会開催事業

本県とアジア地域との貿易促進と関係強化を図るため、食材、県産品等の輸入及び輸出の双方向的な物流推進を図り、県内における貿易活動の推進を図ります。

⑥貿易関連企業育成事業

八戸港FAZの中核施設である八戸港貿易センターに入居し、貿易ビジネスに取り組む企業に対して入居経費の一部を補助することにより、貿易関連企業の育成を図ります。

⑦青森県貿易推進連絡会議運営事業

各機関毎の役割調整や貿易振興上の問題点や課題の整理並びに情報交換を行う場として設置された「青森県貿易推進連絡会議」を継続するとともに、貿易に関するセミナー等を開催し、貿易促進のための啓蒙普及を推進します。

八戸市からの お知らせ

八戸市で2002年度実施される貿易関連事業の主なものを紹介します。

○貿易支援施設入居促進補助金

八戸市では、貿易関連事業者の集積育成及び貿易貨物取扱量の拡大により本市産業の活性化を図ることを目的に、八戸港貿易センターに入居して貿易関連事業を行う企業等に対し、入居経費の1/2を助成しております（上限あり）。

現在貿易を行っている企業に加え、これから行おうと考えている企業も対象となりますので、新たな事業展開を図られる際には、本制度をご活用ください。

○八戸港情報発信事業

八戸市では、海を活かしたまちづくりを目指す「海洋立市」の実現に向けた施策として、貿易港など様々な顔を持つ八戸港を広く市民・企業に理解していただくため、以下の事業を実施しますので、研修その他での活用をご検討ください（対象は団体・個人問いません）。

- ・八戸港貿易センターの見学及び八戸港の概要説明
- ・学校・職場等への出張による概要説明 等



八戸港貿易センター



八戸港多目的国際物流ターミナル

※上記に係るお問合せは、八戸市経済部産業推進課まで
TEL：0178-43-2111（内線308）

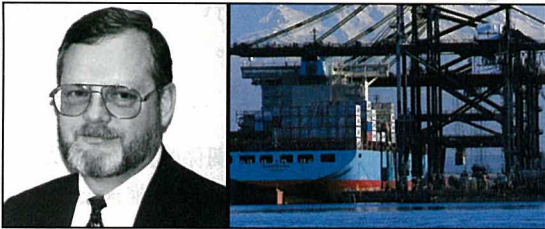
八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2002年3月現在、海外在住（タコマ、香港、マニラ、シンガポール、ブリスベン）の5名を「八戸市海外経済協力員」に委嘱し、協力員には現地の出来事や経済状況をレポートして頂くことになっています。

八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をして頂けることになっていますので、ご希望の方は八戸市経済部産業推進課（TEL0178-43-2111）までご連絡ください。

REPORT1

タコマレポート



タコマ・ピアスカウンティ商業会議所
マネジャー
ゲリー・ブラケットさん

タコマ港

米国通産省は2001年7月27日、米国の第2四半期GDPが第1四半期GDPの1.3%に続き、0.7%のプラス成長になると報告しました。別の報告書では消費者指数は僅かながら低下し、2001年2月に記録した過去5年間で最低の消費者指数を下回ったと報じました。

地域経済に目を向けてみると、予想以上の景気減速に苦しんでおり、エネルギー危機とハイテク産業の不振は大都市地域にも暗い影を落としています。

まず、電力危機ですが、多くのメディアが昨年夏にカリフォルニアで始まった電力危機の影響について報道しています。太平洋沿岸北西部（ワシントン州、オレゴン州、アイダホ州、モンタナ州）はカリフォルニア州と補完的な電力供給をおこなっており、冬にはカリフォルニアから太平洋沿岸北西部へ、夏には太平洋沿岸北西部からカリフォルニアへの電力供給を行ってきました。

太平洋沿岸北西部はその電力の85%を水力発電に頼っていますが、記録的な干ばつにより、水力発電所を稼働させることができませんでした。またカリフォルニア州の電力危機により、同州からの電力調達が可能であったため、冬になると太平洋沿岸北西部は電力危機に見舞われました。

そのため電力の卸売価格はとても不安定なものとなり、1キロあたりの電力の値段が今年の24ドルから今は150ドルという象徴的な値段をつけ、あるスポット市場においては3000ドルま

で上昇しました。その後、電力危機は落ち着きを取り戻し、料金の上乗せも01年10月には無くなりました。

経済状況に関してですが、タコマピアス郡全体の失業率は昨年の4.5%から01年6月には6.6%へ上昇しました。製造業部門の18,000人のうち約1,600人が1年間の間に解雇されました。

さらに、アメリカ並びに世界のIT不況は地域にも影響を及ぼしています。地域企業の発展が足踏みし、プログラマーのような技術系よりも人員管理、マネージメントの分野の人員解雇が行なわれるようになってきました。こうしたなか、タコマ商業会議所は最近の報告においてタコマ地域のハイテク産業の忍耐強さを指摘しました。報告では01年の上半期を通して、タコマ地域で倒産したハイテク関連会社は100社のうち7社に過ぎないと指摘しています。これは驚くべき生存率で、タコマのハイテク産業の未来が明るいことを示しています。

また、ワシントン州最初のテクノロジーセンター設立に向け、州立法府が558万ドルの歳出を認めたことから、今後ハイテク産業を取り巻く環境はより明るいものとなっていくでしょう。

REPORT2

香港レポート



ヤンマーエンジニアリング(株)香港事務所
所長
原子 司さん

東莞市コンテナ港
建設予定地

広東省は香港と隣接する中国で一番開放政策の進んだ地区であり、その中には経済特別区の深圳、中山、珠海、そして東莞などで構成されている（この地区は珠江デルタと言われている）。日本企業の進出もズバ抜けて多く、500社以上の会社が進出している。

大手電気メーカー、自動車メーカー及びそれに付随する関連会社、特に部品メーカーの進出が著しい。日本企業以外にも台湾、韓国の企業が多数あり、職を求めて、中国全土から労働者が集まっている。

さて、現在東莞市が建設を予定しているコンテナ港は、この珠江デルタのほぼ中心に位置する虎門で、3.5万トン級のコンテナ船が接岸できるバースを6-8箇所建設予定で、年間30-60万個のコンテナを処理する計画である。

虎門港工業港区開発局の李高級エンジニアを尋ねてお話を伺ったところ、現在は東莞からだけでも年間に300万個のコンテナが香港経由で輸出されており、新港完成後はその10-20%を処理できることになる。着工は今年6月開始、2年後の完成に向けてまず2つのバースを建設する。実際に現地を訪問してみたところ、場所は珠江デルタの中央の河口に位置しており、外洋まで約2時間。投資金額は6億元（約80億円）で建設資金の目処はたっているとのこと。経営形態は市と中国企業4社、香港企業1社、その他海外企業1社にて運営予定であるがまだ決定していない。小口、大口にかかわらず投資家を募集中とのことであった。

中国の場合、輸出入及び租税に関する法令が朝令暮改であり、中国の物流を制することが、成功への最短距離となるが、多くの企業にとって一番頭の痛いところである。WTO加盟に伴ない法制度が整備され、関税率が引き下げられ、国際化されることは、今後外国企業にとっては追い風となることが期待されている。

挨拶が後先になりましたが、今年度、香港地区を担当することになりました原子です。香港の中国返還前から駐在して既に5年が過ぎてしまいました。近くにお寄りの際はご連絡頂ければ幸いです。

今回はシンガポールの食料事情、その中で特に八戸に関係のある魚介類についてお伝えします。

島国であるシンガポールの回りは海ですが、漁業を営んでいる人は極わずかです。大半はマレーシア、タイ、インドネシアなどの近隣の諸国から入ってきますが、オーストラリア、アメリカ、日本からも輸入しています。

地元で採れる魚は、日本で見かける魚と似ているものはあるものやはり熱帯地方の魚であり種類も限られます。ウエットマーケット（魚菜市场）やスーパーの店頭と並んでいるローカルの魚は、Red Gourper（レッドガルーバ）、Sea Bass（スズキ）、Selar（アジ）、Sea Bream（タイ）、Kembong（サバ）、Sole fish（カレイ）、Ribbonfish（タチウオ）、Cuttlefish（イカ）などです。料理方法は、煮物、から揚げが多く、生で食べることはほとんどありません。

一方、シンガポールは日本人駐在員が多いことから、特に日系デパートの食品売り場では日本から空輸した魚介類も多く見かけます。オオバチマグロ、はまち、カツオたたき、鮭、甘エビ、蛸、イクラ、シジミ、アサリなど日本でお馴染みの魚が店先に並んでいます。するめ、一夜干しなどの加工品もあります。八戸のしめ鯖も手に入ります。でもこれら日本の魚介類は地元の魚に比べると5倍から10倍の値段（700円-1400円/100g）となり、地元の人たちには高嶺の花と言えます。

日本のものは高級品ですが、比較的安価な鮭、海老、蟹がシンガポールでは人気です。鮭はノルウエーなどの北欧から輸入しています。海老は、タイガープローン、キングプローンといった大きめのものが一般的です。また、ロブスター、クレイフィッシュ（シャコエビ）が、100g当たり約S\$5（350円）と安く手に入ります。蟹は渡り蟹のようなフラワークラブや、甲羅が硬く毛蟹ほどの大きさのスリランカクラブです。暑いシンガポールでは蟹、クレイフィッシュはチリとか、胡椒を絡めて調理します。蟹肉の甘さに辛さが合い、チリクラブ、ペッパークラブはシンガポールのシーフードの名物となっています。シンガポールにお越しの際はぜひお試しください。

REPORT3

シンガポールレポート



KDDIテレコメット(株)
ディレクター
佐々木 康宏さん

魚菜市场

八戸港の貿易概況 (2001年1月~12月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
 日本貿易振興会 (JETRO) 八戸情報デスク TEL 0178-72-1850 FAX 0178-72-1503

<概況>

輸出額はフェロニッケル、船舶、有機化学品等の不調によりかなりの程度減。主な仕向国別に見ると中国が18億6,369万円(約4.4倍)、シンガポール20億9,786万円(3.1%増)でそれぞれ好調であったが、台湾114億1,597万円(15.8%減)、韓国が68億1,449万円(23.9%減)と不調であった。

輸入額はニッケル鉱、ウッドパルプ、亜鉛鉱等の不調によりやや減。主な仕出国別に見ると、アメリカが230億4,891万円(8.2%減)、中国が76億7,318万円(30.5%増)とそれぞれ好調であったが、オーストラリアが79億380万円(8.4%減)、カナダが48億383万円(61.1%減)と不調であった。

1月~12月の貿易額 (単位:千円)

輸 出

品名	単位	累 計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	18	8,212,200	120.0%	80.1%
フェロニッケル	MT	117,850	14,988,847	105.9%	73.7%
有機化学品	KG	1,888,080	1,973,230	124.8%	93.4%
紙 製 品	MT	6,097	575,702	84.8%	83.4%
一 般 機 械	MT	2,090	619,391	147.5%	130.9%
鉄 鋼 製 品	MT	23,549	865,974	640.8%	137.0%
飼 料	MT	6,403	348,789	91.0%	102.4%
魚 介 類	MT	18,501	2,478,956	2837.6%	414.9%
亜 鉛 塊	MT	13,807	1,446,783	1635.9%	173.0%
そ の 他			3,162,631		168.5%
計			34,672,503		90.9%

輸 入

品名	単位	累 計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	848,859	13,476,019	109.0%	108.4%
とうもろこし	MT	783,081	11,181,735	99.8%	114.1%
ニッケル鉱	MT	2,388,967	10,144,271	93.0%	80.1%
木 材	CM	174,969	4,008,257	92.5%	100.8%
亜 鉛 鉱	MT	142,310	3,465,891	91.2%	82.3%
大 豆 粕	MT	187,866	5,521,065	98.8%	143.4%
魚 介 類	MT	6,861	4,022,443	76.3%	105.3%
飼 料	MT	188,265	2,315,238	220.2%	114.3%
石 炭	MT	602,341	2,732,425	70.6%	85.9%
こうりゃん	MT	195,777	2,780,921	84.1%	99.4%
ウッドパルプ	MT	31,563	1,775,654	81.3%	65.0%
カオリン	MT	159,428	3,241,152	100.8%	115.5%
肥 料	MT	47,827	1,416,561	76.3%	131.1%
重 油 等	KL	74,165	1,717,406	105.1%	93.2%
コークス等	MT	67,507	733,011	95.4%	110.4%
鉛 鉱	MT	50,487	785,140	83.5%	95.7%
金 属 製 品	MT	2,216	457,829	49.1%	38.3%
その他穀物	MT	28,963	479,285	73.7%	91.5%
糖 蜜	MT	8,419	83,187	160.7%	219.9%
そ の 他			19,446,732		82.8%
計			89,784,222		95.6%

●コンテナ取扱分実績 カッコ内対前年比

輸 出	輸出	184億8,739万円 (91.2%)
輸 入	輸入	135億1,562万円 (103.8%)

●コンテナ貨物通関本数 カッコ内対前年比

輸 出	輸出	7,127TEU (117.2%)
輸 入	輸入	9,841TEU (100.7%)
合 計	合計	16,968TEU (107.0%)

2001年の青森県通関概況

日本貿易振興会 (JETRO)
 青森貿易情報センター
 TEL 017-734-2575
 FAX 017-773-2877
 030-0822 青森市中央1-23-5 明治生命青森中央ビル7階

2001年の青森県内での通関実績は、輸出入総額で1,742億1,951万円となった。2000年より僅かに10億円余り増加した。ただ、各港(八戸港、青森港、青森空港)別では八戸港のみが減少している。それぞれの概況については以下のとおり。

八戸港の実績は、1,244億円5,672万円、5.8%減となった。うち輸出は、9.1%減(346億7,250万円)であった。品目別でフェロニッケルが26.3%減(149億8,885万円)、また国・地域別で台湾向けが15.8%減(114億1,597万円)、韓国が23.9%減(68億1,449万円)と低迷したことが主因である。輸入も、ニッケル鉱の19.9%減(101億4,427万円)、カナダの61.1%減(48億383万円)などが原因で4.4%減(897億8,422万円)と減少した。

一方青森港、青森空港は、輸出入総額でそれぞれ20.5%増(491億1,280万円)、30.4%増(6億4,999万円)と好調であった。うち青森港は、政府支援米が主の北朝鮮向けが全増(56億1,470万円)したほか、鉄鋼くずのみの中国、韓国向けがそれぞれ7.5倍増、3.4倍増となった。青森空港は、電気機器類が主体の中国からが21.8%減(1億6,622万円)となり輸入全体で18.5%減(2億3,433万円)となったものの、輸出が香港向けの2.7倍増(3億7,672万円)を受けて97.1%増(4億1,566万円)と急増している。

県内各港別の貿易額の推移

	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	対前年比
県内で通関した貿易額	160,268	184,061	185,286	155,097	173,173	174,220	0.6
(内訳)							
八戸港	116,319	134,313	139,362	111,731	131,962	124,457	△5.8
青森港	43,806	49,592	45,752	42,867	40,712	49,133	20.5
青森空港	143	156	171	499	499	650	30.4

(資料) 各税関支署発表の統計を基にジェトロ青森が作成。
 ※対前年比は2001年と2000年の比(%)



2002年輸入住宅セミナー

02年1月21日、八戸市のユートリーにおいて、JETRO青森と当協議会共催のセミナーを開催しました。当日はこの分野の2著名人を講師に迎え、企業関係者を中心に60名が参加しました。講演概要は次のとおりです。

1. 「今何故、再び『輸入住宅』なのか」～サスティナブルハウスの到達点～

戸谷英世氏（特定非営利活動法人 住宅生産性研究会理事長） www.hicpm.com

【ポスト住宅金融公庫の住宅産業環境】～欧米の住宅産業環境と類似

【『住宅価格は年収の2.5倍』の住宅産業体質】～アメリカ、カナダのホームビルダー経営

【コンストラクション・マネジメント能力向上の手順】～サスティナブルハウスの実践

注文住宅のための設計図書選び「サスティナブルハウス ホームプラン」 Sustainable House Home Plans

2. 「カナダで生まれて東北で育った輸入住宅」

新本恭雄氏（セルコホーム㈱代表取締役社長） www.selcohome.co.jp

【カナダ住宅による業態変革】

【事業中止まで考えた頻発する失敗】

【ザ・ホームの特長】

【全国展開に向けて】



建材ひとくちメモ：「JAS規格の概要と取得方法を知りたい。」

JASとは、日本農林規格Japanese Agricultural Standardsの略称です。JAS制度は「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（JAS法）」に基づいて、JAS規格制度と品質表示基準制度の2つからなっています。

JAS規格制度とは、農林物資の品質の改善、生産の合理化、取引の単純公正化及び使用又は消費の合理化を図るため、農林水産大臣が制定した日本農林規格（JAS規格）による検査に合格した製品にJASマークをつけることが認められる制度です。

品質表示基準制度とは、一般消費者の選択に資するために、農林水産大臣が制定した品質表示基準に従った表示を、全ての製造業者又は販売業者に義務付ける制度です。JASの認定には、以下の2通りがあります。

- 1) 登録格付機関、都道府県又は農林水産省の機関の行う検査によって、製品の格付を受ける方法。
- 2) 登録認定機関又は農林水産大臣により認定を受けて、製造業者又は生産行程管理者が自ら製品や生産行程の検査をし、格付を行う方法。

1)の方法で格付を受けようとする場合は、品目ごとに登録された登録格付機関に格付の申請をします。格付機関は、試料の抽出（サンプリング）、分析・判定検査（テストング）、判定結果に基づく製品へのJASマークの貼付（ラベリング）を行います。

また、2)の方法で格付を受けようとする場合は、農林物資の種類および工場又はほ場ごとに登録認定機関に認定の申請をします。自らが製造又は生産した製品について、JAS規格に適合するかどうかの検査を行い、適合する場合にはJASマークの貼付ができます。

問い合わせ先／日本農林規格協会（TEL：03-3249-7120） www.jasnet.or.jp

新着情報

- (財)製品輸入促進協会（ミプロ）ご自慢の輸入部材 紹介ページができました！
www.mipro.or.jp/information/housing01.html
- 「米国ワシントン住宅産業情報」（2002年春 第12号）～日本のお客様とワシントン州を結ぶ日本語情報誌
www.trade.wa.gov/jpn_housing
- 「ワシントン州住宅産業企業案内」～対日輸出経験豊富な73社を掲載。
（ともに発行：米国ワシントン州政府通商経済開発局）
- 「あずまの家 CONTEST2001」第4回あもり優良木造住宅コンテスト（発行：青森県県土整備部建築住宅課）
www.pref.aomori.jp/kenchiku

HIHA会員

会社名	連絡先住所	電話
1 南部木材株式会社	八戸市吹上ー丁目1-13	0178-45-4331
2 社康ハウス工業株式会社	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-9633
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
4 有限会社ウッドベッカー	八戸市番町7	0178-46-4606
5 株式会社トーリン	むつ市金谷一丁目14-23	0175-22-6333
6 丸喜株式会社富藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
7 株式会社設計建設工務店	青森市造道二丁目10-17	017-741-8451
8 アテヒ設計建設株式会社	むつ市田名部品ノ木34-12	0175-23-5511
9 三上建設株式会社	青森市中央三丁目11-13	017-723-2771

HIHA：八戸輸入住宅促進協議会

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内

Tel：0178-72-1505 Fax：0178-72-1503

www.hiha.jp

カタログ・資料をご希望の方はHIHA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

会社名	連絡先住所	電話
10 胸井建設株式会社	青森市小柳一丁目19-20	017-741-5167
11 株式会社鎌田建設工業	青森市古館安田11-24	017-741-2063
12 株式会社テオー小笠原	青森市東造道三丁目6-3	017-736-2000
13 株式会社東北産業	五戸町豊岡内地蔵平1-865	0178-61-1100
14 株式会社ハシモトホーム	八戸市類家四丁目5-2	0178-71-1700
15 カナディアンホームズ有限公司	十和田市三本木福吉85-106	0176-21-1570
16 有限会社山広産業 住宅部	八戸市一番町一丁目2-22	0178-27-6570
17 株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282

Hachinohe Import Housing Association

コンテナ航路		船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL OOCL	八戸通運 八戸港湾運送	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(香港、蛇口)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、欧州、北米、豪州、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽)、中国(上海、寧波) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/2週	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	横浜港ターミナル(株)	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) OOCL: Orient Overseas Container Line (Hong Kong) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	4	3
光陽(韓国)	6	8
基隆(台湾)	6	8
高雄(台湾)	7	9
香港(中国)	8	11
大連(中国)	9	8
青島(中国)	9	8
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	6
寧波(中国)	7	7
蛇口(中国)	9	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	16	16
バンコク(タイ)	20	17
レムチャバン(タイ)	15	18
マニラ(フィリピン)	11	14
ホーチミン(ベトナム)	17	16
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	37
ルアーブル(フランス)	30	38
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

八戸運輸倉庫株式会社の紹介

所在地: 〒039-1161 八戸市河原木字海岸4-59
TEL(0178)28-2401 FAX(0178)28-6976

当社は1935年八戸倉庫株式会社として設立し、以後、通運事業及び自動車運送事業の免許・許可を取得し、1950年社名を八戸運輸倉庫株式会社と改称し現在に至っております。

さて、近年物流における輸送モードは非常に多様化してきておりますが、その中で国際貿易におけるコンテナ化率には著しいものがあり、八戸港においても94年の航路開設以来その取扱数量も順調に伸びております。

このような状況の下で当社も八戸港国際物流拠点化推進協議会の一員として一層施設の充実を図りお客様の多様なニーズにお応えすべく日々研鑽を積んでいる処であります。



八戸港国際物流拠点化推進協議会
新会長挨拶



会長 八戸市長
中村 寿文

昨年11月に協議会会長に就任いたしました。
現在、八戸港には3つの国際コンテナ定期航路と横浜との内航フィーダー航路が開設されており、この航路を利用した海外との直接貿易が年々拡大するなど、北日本の国際物流拠点として八戸港の果たす役割は益々増大してきております。
昨今の物流の高度化に対応するため、引き続き八戸港の国際物流拠点化を推進していく所存ですので、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL: 0178-29-0202 FAX: 0178-20-3281
 - 八戸港湾運送株式会社 TEL: 0178-29-3177 FAX: 0178-29-3119
 - 新丸港運株式会社 TEL: 0178-20-2321 FAX: 0178-20-2353
 - 八戸運輸倉庫株式会社 TEL: 0178-28-2401 FAX: 0178-28-6976
 - 三八五流通株式会社 TEL: 0178-52-7755 FAX: 0178-52-7751
 - 日本通運株式会社八戸支店 TEL: 0178-27-3311 FAX: 0178-27-5520
 - ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL: 0178-20-1651 FAX: 0178-20-2444
- 青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市経済部産業推進課内

TEL:0178-43-2111(代表) e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp